

練習の成果を一堂に披露

キューブ新体操教室発表会

3月23日、ホワイトキューブで「キューブ新体操教室発表会」が行われ、同教室の生徒や招待選手など約50人の選手が参加し、訪れた保護者や来賓の方々に1年間の練習の成果を披露しました。

昨年の大会などで輝かしい成績を収めた選手たちを筆頭に、個人・団体の力強く華やかな演技や、キッズチームのかわいらしいダンス、ユーモアあふれる集団演技など20のプログラムで会場を盛り上げていました。また、招待選手である仙台大学新体操競技部女子団体も演技を披露。全国大会で入賞した演技で、発表会に花を添えました。

今年も7月にベラルーシ新体操ナショナルチームが東京オリンピックに向けた事前合宿に本市を訪れ、同教室の選手たちとの交流や演技発表会を行う予定です。交流を通して、本市の新体操競技のレベルアップが期待されます。



1_キューブ新体操教室生全員が参加したオープニングアクト
2_力強く迫力あるリングの演技を披露した吉野武琉くん
3_中学3年生が抜けて初めての発表となった女子団体競技

さらなる安心・安全を誓う

平成31年度白石市消防団春季消防演習

4月14日、「平成31年度白石市消防団春季消防演習」を白石川緑地公園で行いました。演習には白石市消防団の8分団から580人が参加。通常点検や部隊訓練のほか、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などを行い、日ごろの訓練成果と高い技術を披露しました。

山田市長は「平成という時代は東日本大震災の発生をはじめ、大規模な土砂災害が多発し、『防災』の重要性が強く認識された時代でした。今後も新たな時代に向け、地域防災力の要として、住民の生命、身体、財産を守る取り組みをお願いします」とあいさつ。佐久間富次消防団長は「時代とともに、消防団のあり方も変化しています。女性団員の活躍や今年から始めた紙芝居による幼年期の防火・防災啓蒙活動など、我々も視野を広げ、長い歴史と伝統を誇る白石市消防団をよりよいものにしてほしい」と団員へ訓示しました。



1_白石川へ向けて一斉放水 2_正確かつ素早い動きで操法訓練を行う団員たち 3_勇壮な音色を奏でるラッパ隊

蔵王山麓に春の足音

水芭蕉の森・どうだんの森開園式

3月27日、福岡深谷地内にある「水芭蕉の森・どうだんの森」の開園式を行いました。同園には約5万本のミズバショウが群生しており、毎年春の訪れを告げるかわいらしい花を目当てに多くの方が訪れます。

参加した約100人の市民や関係者たちは、式典後に整備された木道から、例年より10日ほど早く開花したミズバショウを眺めたり、写真に収めたりしながら、同園の散策を楽しんでいました。



▲きれいに花開いたミズバショウを堪能しました

おもてなしの心できれいな川に

白石城お堀清掃

3月23日、毎年恒例の川干し清掃をリニューアルした「白石城お堀清掃」が沢端川周辺で行われました。今回で30回目となるこの活動は、毎年春と秋の2回、沢端川などの土砂上げと補修をするために行っている川干しに合わせて、川底や川沿いのごみを拾い集める取り組み。この日は市内の企業や団体・個人などのボランティア約300人が参加しました。参加者は「桜の季節なので、観光に来る方にも喜んでもらえたらうれしいです」と話してくれました。



▲毎回多くのボランティアの皆さんが参加しています

地域のスポーツ振興に貢献

半沢克美さんに感謝状

4月10日、46年の長きにわたり白石市スポーツ推進委員を務められた半沢克美さんに半沢芳典教育長から感謝状が贈呈されました。半沢さんは、しろいし蔵王高原マラソン大会を第1回大会から支え続け、家庭バレーボールの普及や市民綱引き大会の立ち上げなど、スポーツの普及と地域振興に大きく貢献されました。半沢さんはこれまでを振り返り、「皆さんに感謝の一言。今後はもっともっとスポーツの盛んなまちになってほしいです」と話してくれました。



▲感謝状を手に半沢教育長と撮影する半沢克美さん(左)